

盛岡南公園野球場（仮称）整備事業について

令和2年11月24日

交流推進部

1 趣旨

盛岡市と岩手県との共同整備により、令和5年度の供用開始を予定している「盛岡南公園野球場（仮称）整備事業」の基本設計の概要及び運営に係る検討状況等について報告するものである。

2 施設概要

(1) 野球場

ア 構造 鉄骨造3階建, 7,743.52㎡

イ フィールド 両翼100m, 中堅122m, 内・外野とも人工芝

ウ 観客席 20,000席（内野 12,000席, 外野 8,000席）

(2) 屋内練習場

ア 構造 鉄骨造2階建, 4,800.92㎡

イ フィールド 50m×50m, 野球場と同規格の人工芝

(3) キッズスタジアム

(4) 駐車場 1,040区画（うち車いす用駐車場 40区画）

3 基本設計概要（別紙1-1, 1-2, 1-3, 1-4を参照）

(1) 全体

ア プロ野球一軍公式戦が開催できる高規格な野球場と屋内練習場を一体的に整備し、両施設をブリッジで接続するほか、来場者が多く往来する中央部にイベント広場を設け、東西軸として「さくらストリート」を設けるなど、明快なアプローチにより公園全体での賑わいを創出し、市民に楽しさを提供する。

イ 広島マツダスタジアムで導入された遊環構造理論を基に、イベント広場を核とした施設配置としながら、場内エリアを周回できる回遊性・循環性の高いコンコースを整備することで、日常的に野球場と触れ合うことができ、市民に愛され、親しまれるボールパークとする。

(2) 野球場

ア スコアボードは、全面フルカラーLED方式による大型映像装置とし、イベント時には、リプレイ等の映像を再生可能とする。

イ アマチュア野球の聖地であり、プロ野球一軍本拠地でもある明治神宮野球場と同規格の高品質な人工芝を使用する。

ウ ブルペンを1・3塁側スタンド下屋内に各3レーン設置するほか、ストレッチやトレーニング、キャッチボール等が可能なエリア及び素振りスペースを整備する。

(3) 屋内練習場

- ア 1・2階それぞれにランニングコース兼見学スペースを設置する。
- イ 各種マシンやボルダリング壁、人工芝エリアを備え、幅広い年齢・目的に応えるトレーニングルームを設置する。
- ウ 遊びを通じた子どもの運動機能向上を目的とし、ネット遊具やボルダリング壁等、子どもが自由に遊べる場を整備する。
- エ 料理教室等に対応可能なカフェ（休憩）スペースを設置し、誰でも気軽に訪れることのできる憩いの場を創出する。

4 主な特徴

(1) 岩手らしさ・盛岡らしさ

- ア 立地を最大限生かす計画により、岩手山や南昌山を眺望できるテラスを整備するほか、外野席後方に雄大な眺望を背景として高木を植栽した「フォレストパーク」や遊歩道を整備することで、雄大な山々を望むパノラマ景観を眺望できる環境とする。
- イ イベント広場に隣接する野球場のフィールドへの動線に、久慈次郎をはじめとした岩手・盛岡の野球関係者を顕彰し、岩手・盛岡の野球の歴史を継承するための「顕彰スペース」を整備する。また、床面は野球場のフィールドを模したデザインとすることで、高揚感を演出し、写真撮影スポットとしても機能する。

(2) バリアフリー対策

- ア コンコースから観客席に至る経路や外野席後ろの経路に、緩い勾配のスロープを設置することで、年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも利用しやすい施設とする。
- イ 車いす用駐車場、多目的（オストメイト対応）トイレ、エレベーターを集約配置とすることで、移動距離を短くし、段差を経由せず、安心して観戦できるよう配慮した施設とする。
- ウ 車いす用観客席について、合計 100席（内・外野各50席）を設置し、オリンピック施設規格と同程度かつ東北地方最多の車いすスペースを有する施設とすることで、「見たい場所で見ることのできる環境」を整備する。

(3) 災害時の利用（別紙2を参照）

屋内練習場は、大規模災害発生後の状況に応じた機能転換が可能な施設とする。

- ア 発災直後は一時避難所（内閣府ガイドラインを基準としたソーシャルディスタンスを確保した上で約 160世帯が滞在可能）として機能させることができる。
- イ 一時避難解除後は、支援物資等の集積場所として活用するため、大型トラックが横付け可能な東側駐車場に面して大型開口（2箇所）を配置し、物資等の運搬や移動、場内配置を容易にする。
- ウ 大規模災害発生時に備え、野球場・屋内練習場周辺にマンホールトイレを20基整備する。

(4) 実施設計での検討事項

- ア 岩手らしさ・盛岡らしさを体現するため、「顕彰スペース」や「カフェスペース」をはじめ

とした来場者の目につきやすい箇所等に地元産木材（県産材・市産材）を活用する方策を、今後の実施設計において事業者と協議を進めていく。

- イ 野球場の内野コンコースの壁面（約 200m）は、岩手・盛岡の魅力を発信しながら、試合開催時に迷わないためのサインとしても機能するよう、岩手・盛岡にまつわる色をテーマにしたカラーリングを施す計画としているが、色使い等の詳細については、今後の実施設計において事業者と協議を進めていく。

5. 運営に係る検討状況

(1) 検討中のイベントについて

令和 5 年度（供用開始年度）のこけら落としとして検討している主な事業は、以下のとおり。

- ア プロ野球一軍公式戦（供用開始年度は 3 試合を予定）
- イ 大学野球サマーリーグ（サマーベースボールウィーク）
- ウ 地域共創運動会
- エ 少年野球指導者セミナー

(2) 交通対策について

ア 交通量調査

盛岡南公園への平常時の交通状況を把握するため、交差点 5 箇所（別紙 3 を参照）について、平日及び休日の 2 パターンにより調査を実施し、その結果、現況ピーク時間帯の交通量において、既設交差点で処理可能であることが示された。

今後、イベント時を想定した交通量調査及び地域への説明会等における課題の検証を行いながら、引き続き検討を進めていく。

イ イベント時の交通対策（案）

最大の集客が想定されるプロ野球一軍公式戦開催時は、周辺の生活道路や通学路への車両の流入を防止するため、現時点では以下の方策について検討しており、イベントの主催者による実施につなげていく。

- (ア) J R、バス等の公共交通機関利用を基本とする。また、その利用促進策を実施する。

（岩手飯岡駅の東西自由通路については、新野球場の供用開始と同時期までに整備予定）

- (イ) 盛岡駅等主要地点からのシャトルバス輸送を実施する。パーク＆ライド実施時は、野球場から離れた市有地等を活用する。

- (ウ) 誘導員の配置、看板の設置、H P・テレビ・ラジオ・新聞等での情報周知

なお、高校野球岩手大会等への対応についても、観客については、公共交通機関利用を基本とするが、公園内駐車場の活用の可能性等、引き続き関係団体との協議を行っていく。

ウ 市道（南西部：市道平屋敷 3 号線）の新設について（別紙 4 を参照）

- (ア) 新設市道について、イベント来場者は、退場時の車両動線として活用する。

（イベント時の車両は東側から入場し、場内の車両動線を通行し、西側から退場することで、一方通行の明快な動線とする。）

新設市道の活用により、周辺通学路等への車両の流入を防止する。

- (4) 公園と新設市道の境界に法面を設けることで、市道への公園利用者の飛び出しを防止する。

6 工事期間中の周辺地域への配慮

- (1) 工事車両は、時間帯に関わらず永井小学校の指定通学路を避けることとする。また、基礎工事等で発生した掘削土を場内で直接使用する場内完結型の施工計画とすることで、土砂運搬車両の通行を抑制し、近隣道路への交通負荷を低減する。
- (2) 土工事期間中は、退出ゲート付近で工事搬出入車両のタイヤ洗浄を行うことで、周辺道路の汚損防止を図ることとする。また、事業計画地周辺の清掃活動により、美観維持に努める。
- (3) 道路境界に鋼製パネルの仮囲いを設置し、周辺への騒音・粉塵の発生を抑制する。なお、仮囲いには完成パース図や工事予定表を掲示し、情報の周知を図るほか、市スポーツ少年団野球連盟に加盟する子どもたちが描いた絵を掲示する。

7 今後のスケジュール

年度	内容
令和2年度	基本設計・実施設計 地域等への説明会の開催（12月以降） 本工事の準備作業への着手（道路・消防等の各管理者等との協議完了後）
令和3年度	建設工事
令和4年度	建設工事 設置条例（使用料の設定含む）について、6月市議会定例会に議案上程（予定） 指定管理者の指定について、12月市議会定例会に議案上程（予定）
令和5年度	供用開始（予定）
令和5～19年度	運営・維持管理期間（供用開始後15年間）



■スコアボード（大型映像設備）

- ・スコアボードはバックスクリーン一体型とし、全面LEDとします。
また、大型映像システムに対応したフルカラーLED式とします。
（時刻表示部はスコアボードを稼働させずに確認できるようにLED部分とは分離します。）
- ・場内放送システムと連携可能です。
- ・一般利用を考慮し、特別な指導を受けることなく簡単に利用できるような設備（カメラ操作、DVD再生等）を設置します。
- ・スコアボード表示部に使用するLEDモジュールは、モジュール使用数の1%程度を予備品として納入します。

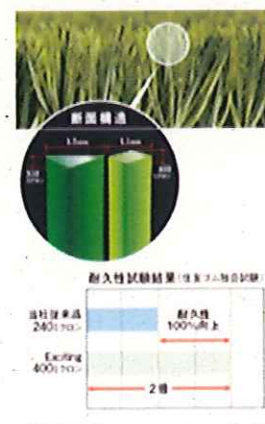


■人工芝

- ・内外野のフィールドにはアマチュア野球の聖地である明治神宮野球場で使用している、ロングパイル人工芝である「ハイブリッドターフExiting」を使用します。
- ・人工芝の芝葉の厚さが400ミクロンと310ミクロンの2種類のを組み合わせることで、金属スパイクにも耐えうる耐朽性を持ちます。また、断面形状の異なるものを混合することで光を拡散し、まぶしさを抑えることができます。
- ・芝葉には、温度を吸収しにくい顔料を用いるため、温度上昇を抑制する効果があります。
- ・濃淡2色のグリーンを混合し、天然芝に近いイメージを醸し出します。
- ・人工芝の下地舗装の施工は、光波自動測量器を用いて出来形管理を行う情報化施工を行うことで、仕上がりの精度や平坦性を確保します。



人工芝採用実績（明治神宮野球場）

充填剤の
飛散防止イメージ極厚ヤーンによる
耐朽性向上イメージ

■屋内練習場の子供の遊び場

・けんけん広場

- ・屋内練習場の2階の屋上テラスは、運動利用の場となるほかネット遊具と繋がった子どもの遊び場となります。他の活動から離れた安全な遊び場として利用できます。また、野球場2階コンコースと連絡ブリッジで繋がっているため、プロ野球興行時等、多くの人々が来場した際の人混みから離れた休憩場所としても利用できます。



けんけん広場別案件実例（イメージ参考写真）

・ネット遊具/ボルダリングウォール

- ・カフェスペースには子ども用ボルダリングウォールとネット遊具を設けます。運動機能の基礎となる四肢の開発、バランス感覚を育むのに有効なアイテムです。
- ・両施設とも、子どもが自由に無料で遊べる場とします。真夏や冬期等、天候が厳しい時期や、親が他施設で活動している間、隣接したカフェスペースで休憩している間などの遊び場として利用できます。
- ・屋内練習場の事務室とカフェスペースに接して設けることで、運営スタッフ及びカフェ利用者の人の目による安全管理を行うことが可能です。



ネット遊具別案件実例（イメージ参考写真）

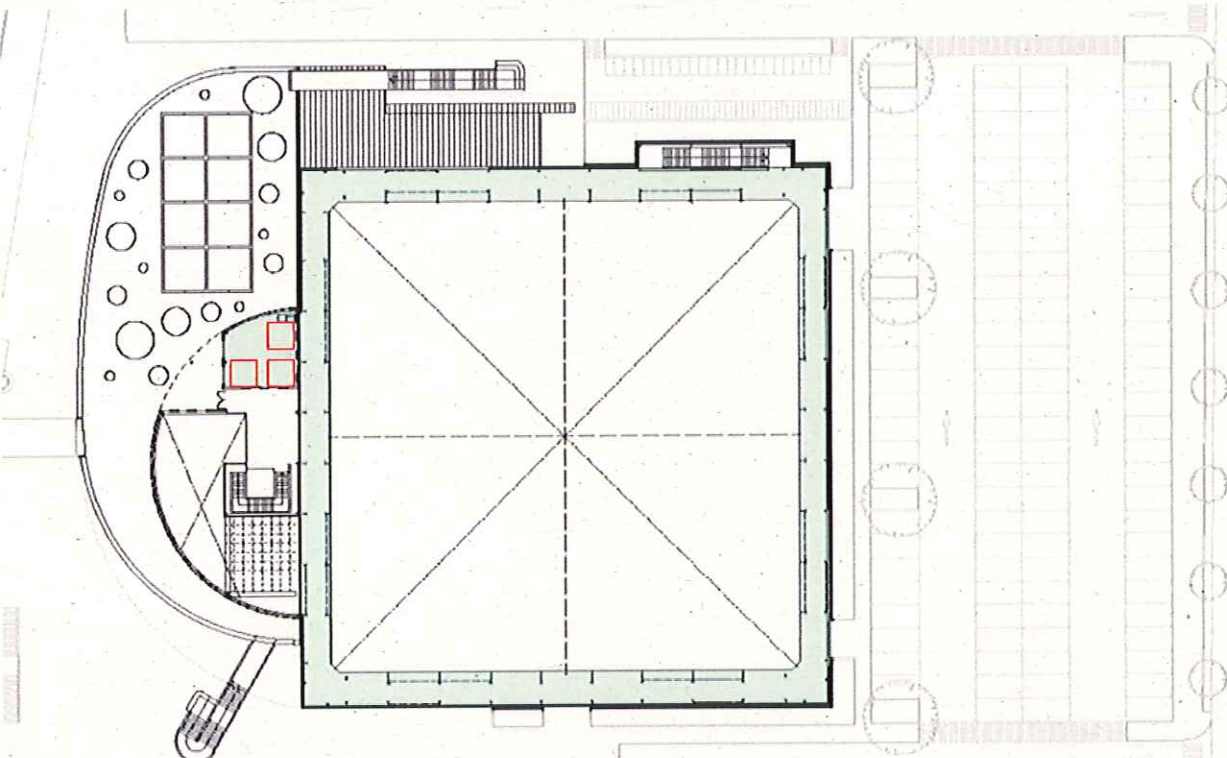
ボルダリングウォール別案件実例
（イメージ参考写真）

[illegible]

初動期（発生後24時間程度）

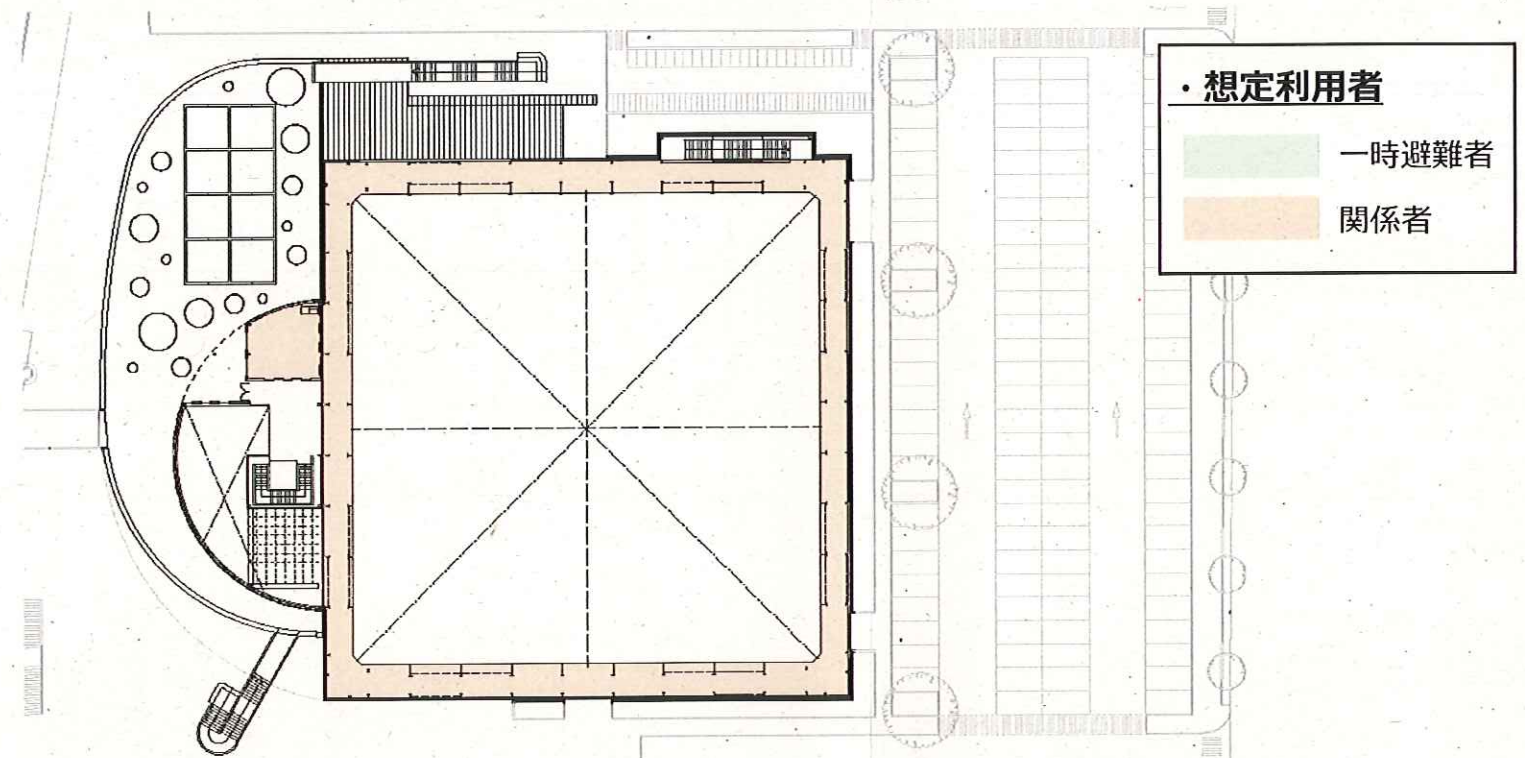


その後（発生後10日程度）



□ テープ等による区画表示を行った場合の人家族分区画（目安3m×3m）

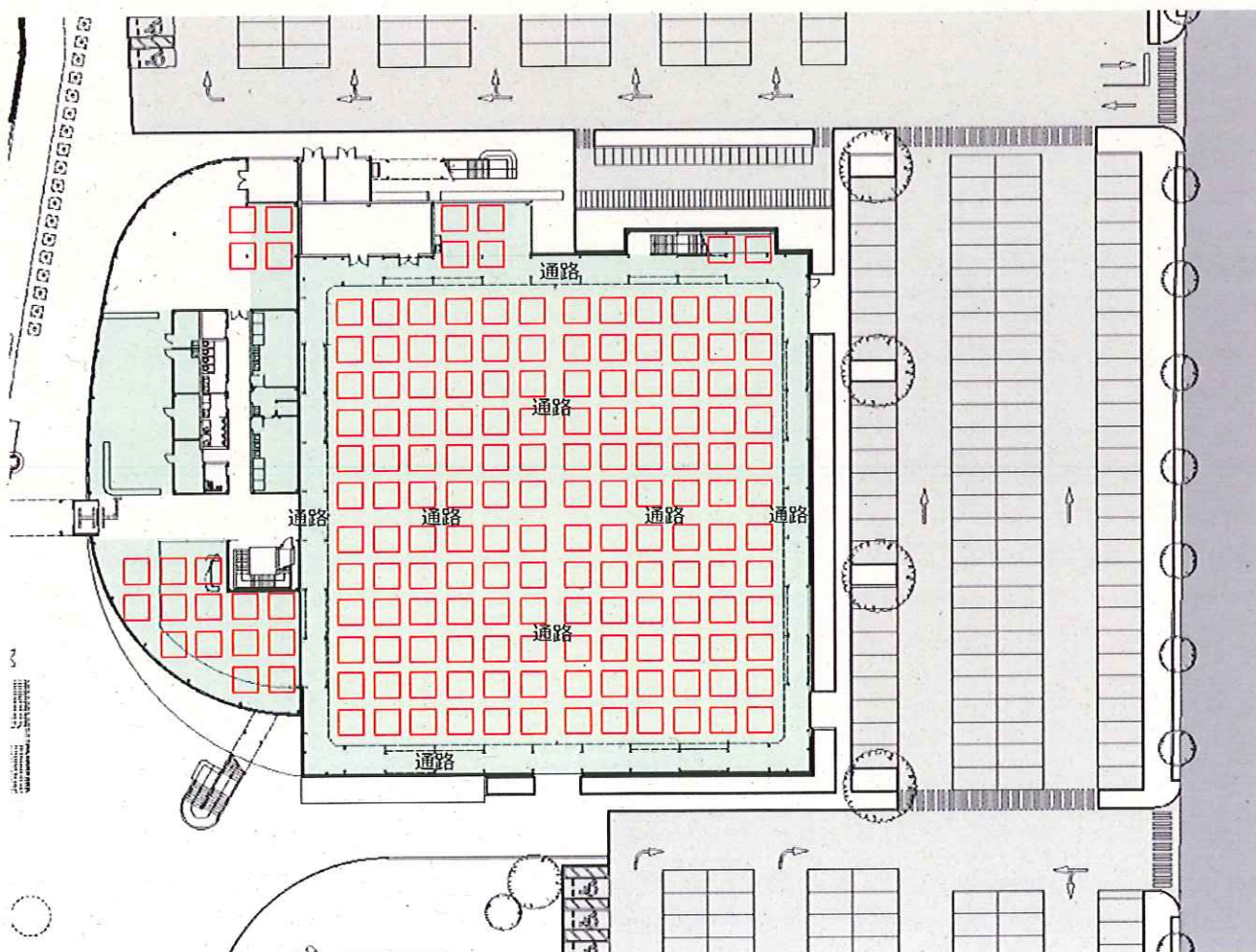
2F PLAN



・想定利用者

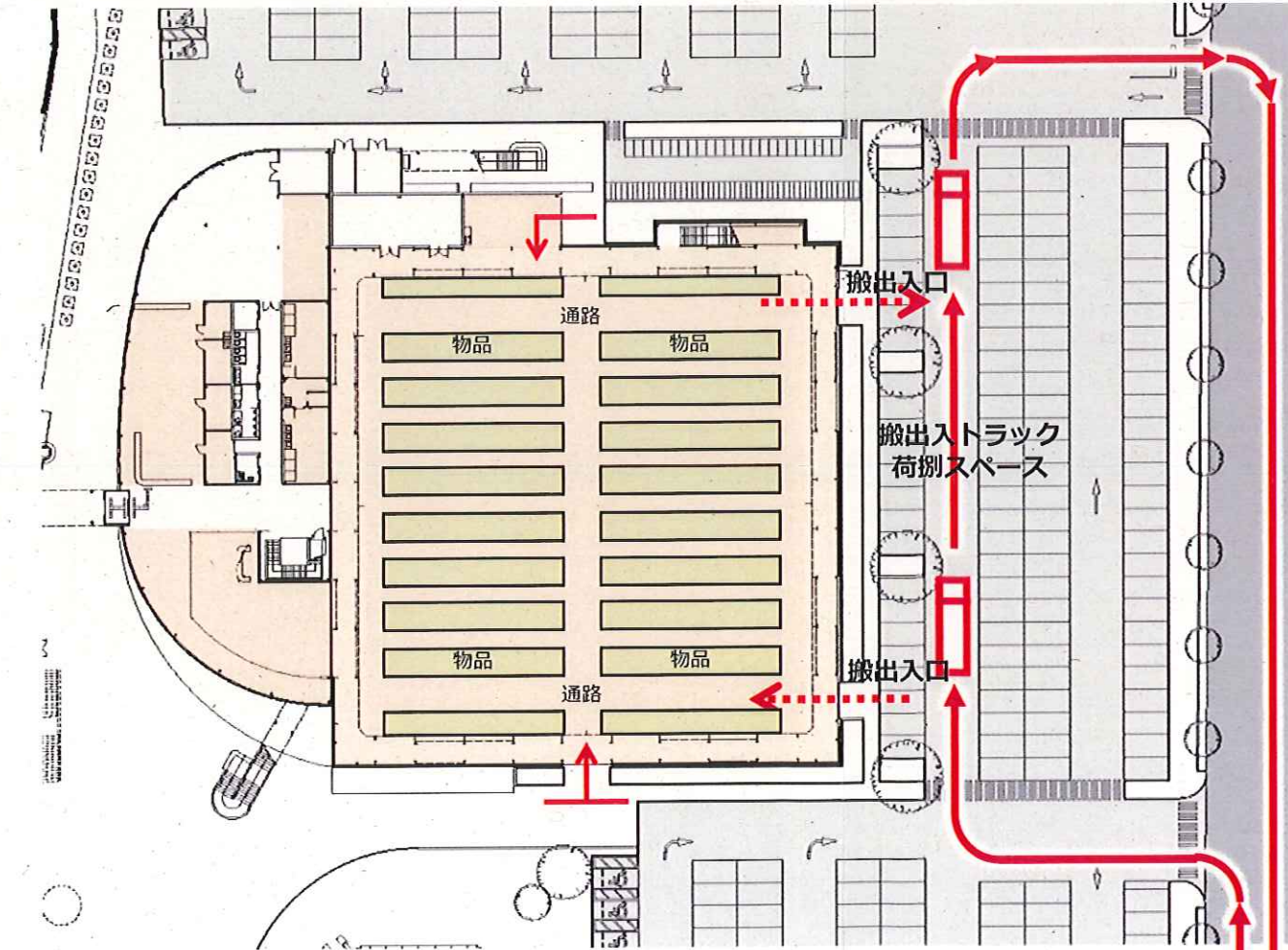
- 一時避難者
- 関係者

2F PLAN



□ テープ等による区画表示を行った場合の人家族分区画（目安3m×3m）

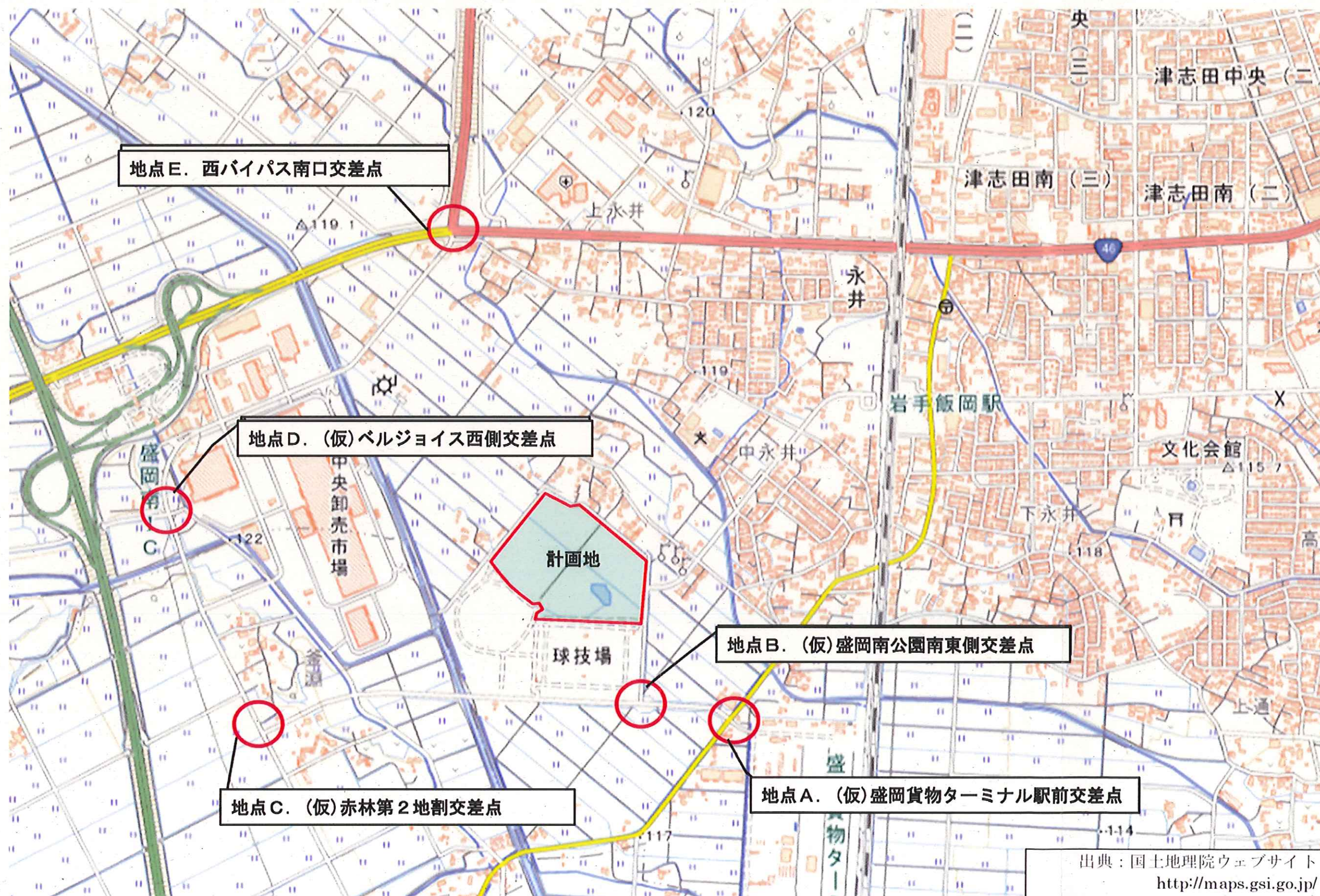
1F PLAN

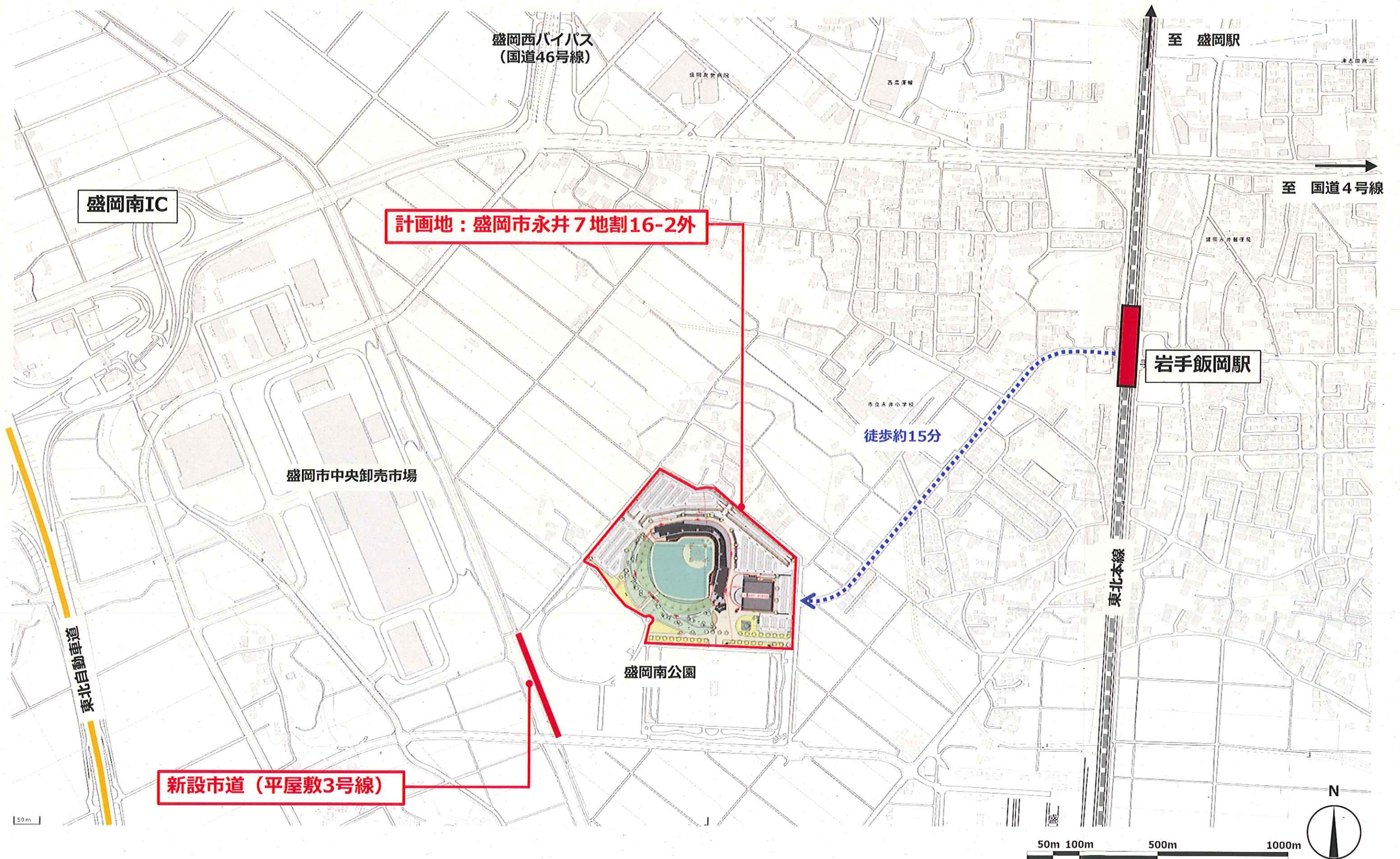


1F PLAN

盛岡南公園野球場計画 現況交通実態調査報告

○ 調査箇所 下図のA～Eの交差点5か所。 信号交差点（交差点A，E），無信号交差点（信号交差点B，C，D）





循環性・回遊性を生み出す園路と広場

